

# くしろ100年事業「阿寒湖周辺スタディートリップ」アンケート結果

## 参加者について

<当日参加者>

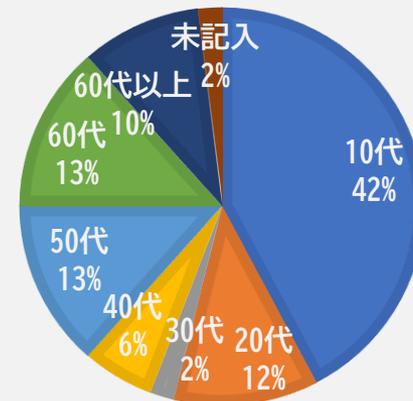
- ・市内大学生(引率教諭含む)…29名
- ・一般参加者 …19名
- ・地域協議会委員 …4名

合計52名が参加

大学生から一般参加者、地域協議会委員の方が参加され、10代から60代以上まで幅広い年代の方に参加していただくことができました。(図1のとおり)

図1

参加者年齢層



## 満足度

Q. 参加して良かったですか？

- ・「はい」と答えた方 …51名
- ・「いいえ」と答えた方… 1名

※上記のように答えた理由…図2のとおり

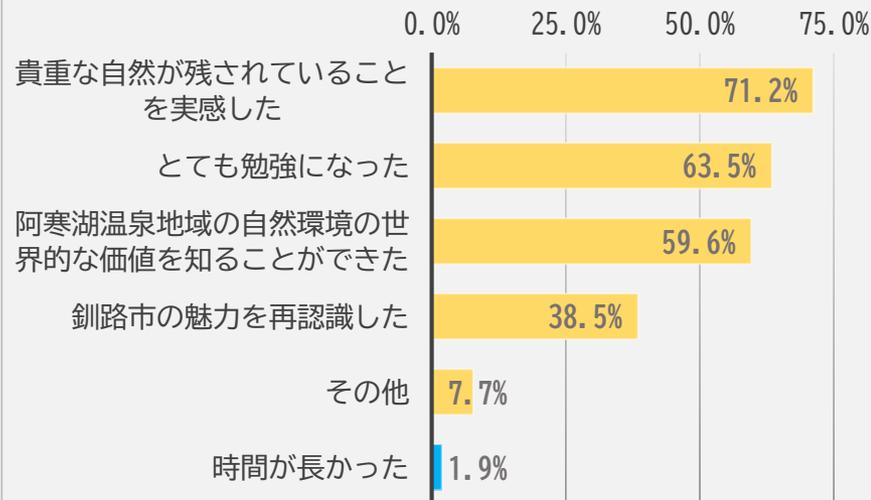
参加者のほとんどが参加して良かったと答えており、満足度が高いことがわかりました。

また、その理由として半数以上の方が「貴重な自然が残されていると実感」や「世界的な価値を知ることができた」を選択していました。

このことから、釧路市が持つ貴重な地域資源の価値を多くの人に認識していただくことができましたと考えます。

図2

参加して良かった(良くなかった)と思った理由



## ゼロカーボンパークについて

<ゼロカーボンパークとは>

国立公園における電気自動車等の活用、国立公園に立地する利用施設における再生可能エネルギーの活用、地産地消等の取組を進めることで、国立公園の脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めてサステナブルな観光地づくりを実現していくエリア。

※阿寒摩周国立公園内の阿寒湖温泉は北海道で初のゼロカーボンパーク登録地

<阿寒湖温泉の取組>

- ・E-bike(スポーツタイプの電動アシスト自転車)の活用を含むゼロカーボン観光の推進
- ・温泉熱利用による省エネの推進
- ・地元のおいしい水「くしろ阿寒百年水」PRでペットボトル削減 など

ゼロカーボンパーク登録地としての取組に関しては、「知らなかった」と答えた方が50%と認知度が低い傾向であることがわかりました。(図4のとおり)

取組そのものについては、「もっとPRすべき」、「どんどん進めるべき」と答えた方が50%以上であり、おおむね肯定的であることがわかりました。(図5のとおり)

## これからの100年に向けて

半数以上の方が、「住んでいる人たちが誇りを持てるまち」「自然との共存を大切にするまち」を選択していました。(図6のとおり)

このことから、「市民一人ひとりが、釧路市の魅力や価値をしっかりと認識し、愛着を持つことが大切である」と、参加者の多くが感じていると推測されます。

また、「その他」を選択した方の意見としては「子供たちが定住できるまち」「住むために働ける場所がたくさん欲しい」などがありました。

図4

### ゼロカーボンパーク登録地としての取組の認知度

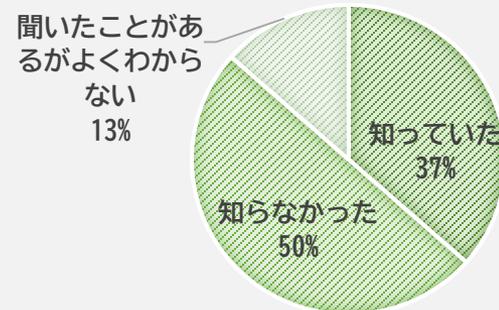


図5

### ゼロカーボンパークの取組

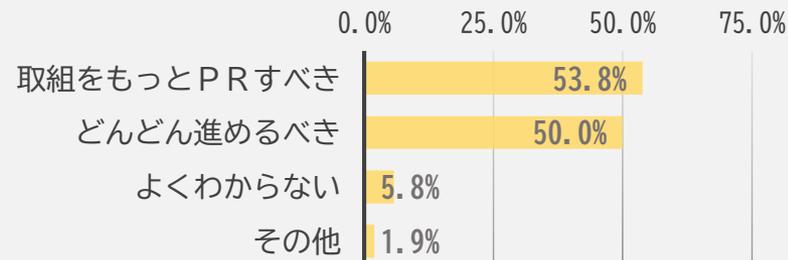
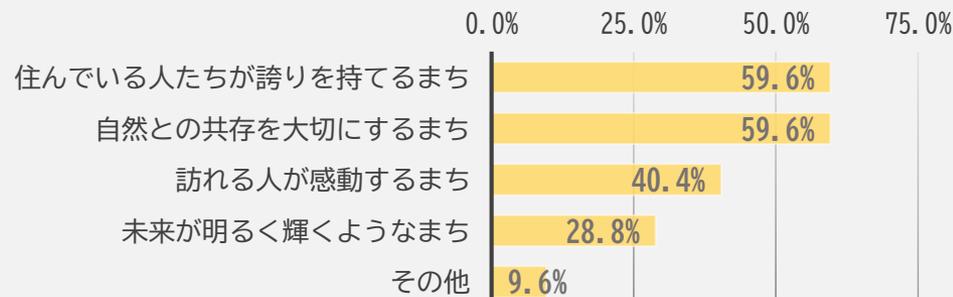


図6

### これからの100年に向けてどのようなまちにしたいか



## これからの100年に向けたまちづくりのためにできること

### 参加者意見(自由記述)一覧

1	人と自然が連携するような活動(今回のような)をもっとするべき。
2	阿寒だけでなく釧路の色々な地域でこのような取り組みがあれば良いなと思います。
3	脱プラの取組促進・PR、道路などの公共のインフラ整備
4	今回のような行事に気軽に参加できるようにしたいと思います。学生だけではなく、地元に住んでいるけど、地域の事を知る機会を広めるには？ですね。
5	自然たっぷり、見るだけではなく、体感出来る観光を目標にしてみてもいいかなと思います。
6	地域の特性を知る良い機会でした。地域の特性をもっと子供たちに教育してほしいと思っています。
7	釧路の身近な歴史・自然に触れること・勉強できる機会を、有料で良いのでもっと開催してほしい。
8	マリモ、タンチョウを始めとする天然記念物、阿寒、摩周国立公園、釧路湿原国立公園とそこに住む野生生物の価値や生態について、幅広い世代に教育して頂きたい。少なくとも「タンチョウ鶴」といった間違っただけの言葉、発言は市民には言わないレベルまでお願いしたい。
9	小学生親子のマリモツアーなど釧路市民にも広く知ってもらいたい。(観光客の方にももちろん知っていただけたら嬉しいですよ)
10	ふるさと教育ではないが、自分の住んでいる街に関心を持ち、知り、地域の宝を大事にする人間を育てて欲しい。
11	市民として、自分の住んでいるこの街を好きになることが前提だと思います。個人的には、地方に住む知り合いや友人へは、手みやげを用意する際は、必ず釧路の特産などを、アピールしながらさしあげるようにしています。市内の方でも意外と知らないこともありびっくりすることも。自然、特産、産業のPRが必要かと。
12	釧路市発展の種子を広く民意を集める、計画的な発信力
13	釧路の自然は特記すべき物がたくさんあります。何度でも訪れ、住みたくなるPRを出来るといいなあとと思います。
14	参加費がほぼ0円のイベントで、送迎もしてくれるようなお知らせが、学生向けに来れば参加すると思う。観光施設の整備をしてほしかったです。
15	マリモの動く様を色々な場所で見られるようにすると良い。双湖台の伐木。まりむ館前の温泉の案内看板。同じ道を往復しないで、一筆書きできる様な散策路のモデルコース。やはり本物のマリモが群生している様を見たい。水槽では寂しい。数が足りない。

16	双湖台をきれいにしてもらえると、よりいいと思う。
17	観光客が来るようにイベントを開催する。
18	駅前の活気がないので、町の中心に人が来るようなイベントとかがだんだん多くなっていけばいいなと思います。
19	ロングステイの取組み、スポーツ合宿の強化、若者来釧
20	年代、年代で参加できる記念が良いですね！
21	駅周辺の活性化
22	駅前はシャッターが閉まっているところが多いので、もうちょっと栄えてほしい。
23	植物園、駅周辺の充実、駅に近い通りの充実、大学生向け商業施設等、避暑地PR
24	駅周辺の活性化や若い世代への支援を望みます。
25	釧路は気候が素敵だから、駅前の過疎化などが治れば、人口が増えると思う。
26	釧路市の駅前のシャッター街を、どうにかするべき。
27	歴史があったり貴重なものは残して、新しくした方が良いものは新しくする。
28	とにかく色々なお店を作ってほしい。特に桜ヶ岡方面にはあまり24時間使える店やイオンがなく困る。友達と遊ぶとき、毎度、釧路町か昭和まで行っているのでもう少しこっち方面にも、メガドンキーやイオン、サイゼリア、マックなどを作ってほしい。GUで服を買ったりするにも毎度昭和まで行くのは大変です。偏りがなくまち作りしてほしいです。これからスシローが鳥取方面にできるらしいけれど、そういうお店も桜ヶ岡方面にもほしいです。
29	インフラの整備
30	古い建物をリノベーションする。
31	日本はもちろん、釧路も人口が減少することを前提としたまち作りをすることが必要であり、ハコモノを作ることを良しとした昭和・平成を猛省し、釧路らしいコンパクトな街を作って欲しい。例えば、駅舎を地元の「木」を使って、「クマケンゴ」さんのような発想で建て替えるとか。ふるさと納税、今年は是非上位に行きますように!!
32	釧路、阿寒、音別はバラバラに分かれているイメージを持っていた。3地域が一体感を作れる機会がほしい。観光に依存しないまちづくりをしてほしい。
33	まりも猫を作る
34	ネコちゃんやわんちゃんに優しくする。野良の保護。